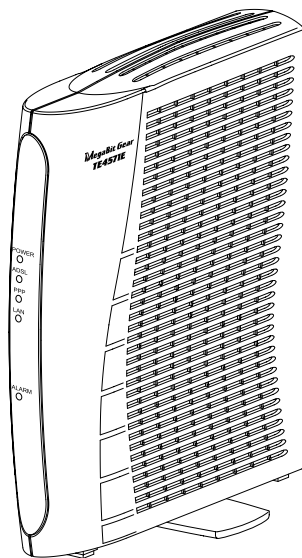


MegaBit Gear TE4571E

取扱説明書（詳細編）

このたびは、TE4571Eをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- 設定画面について説明しています。



技術基準適合認証品

- 本製品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Macintosh®, Mac®, Mac® OS は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat® Reader, Adobe® Reader® は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- ® マークおよび TM 表記については本文中に明記しません。
- This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (<http://www.apache.org/>) .
- Copyright (C) 1993–2002 by Darren Reed.

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 目次 | 1 |
| 1 設定 | 3 |
| 1-1 基本設定 | 3 |
| 1-2 NAT アドレス変換設定 | 6 |
| 1-3 NAT アドレス・ポート変換設定 | 10 |
| 1-4 IP フィルタ設定 | 13 |
| 2 表示 | 19 |
| 2-1 機器情報 | 19 |
| 2-2 セキュリティログ | 22 |
| 2-3 NAT テーブル | 23 |
| 2-4 UPnP ログ | 24 |
| 2-5 UPnP コントロールポイントテーブル | 26 |
| 2-6 UPnP NAT 設定情報 | 27 |
| 3 保守 | 29 |
| 3-1 ログインパスワード設定 | 29 |
| 3-2 時刻設定 | 31 |
| 3-3 設定のバックアップ・リストア | 32 |
| 3-3-1 バックアップ | 33 |
| 3-3-2 リストア | 34 |
| 3-4 設定の初期化 | 36 |
| 3-5 ループバックテスト | 37 |
| 3-6 Ping テスト | 38 |
| 3-7 ADSL 再接続 | 40 |
| 3-8 PPP 切断/接続 | 41 |
| 3-9 機器の再起動 | 42 |
| 3-10 バージョンアップ | 43 |

| | |
|----------------------------------|----|
| 4 設定例 | 46 |
| 4-1 外部にサーバ (Web、FTP) を公開する | 46 |
| 4-2 ネットワークゲームをする | 50 |
| 4-3 VPN を使用する | 56 |
| 4-3-1 PPTP パススルーの設定 | 57 |
| 4-3-2 IPsec パススルーの設定 | 60 |

1 設定

1-1 基本設定

インターネットにアクセスするために必要な設定を行います。

The screenshot shows the '基本設定' (Basic Settings) page. At the top right, there is a 'ヘルプ' (Help) link and a small icon. The main content area is divided into sections by horizontal lines. The first section is for LAN IP address and mask length, with a text box containing '192.168.0.1 / 24'. The second section is for DHCP server settings, with a dropdown menu set to '使用する' (Use), a text box for '割り当て先頭IPアドレス' containing '192.168.0.2', a text box for '割り当てIPアドレス個数' containing '16' (with '(1-50)' in parentheses), a text box for 'リース時間' containing '60' (with '分 (1-1440)' in parentheses), and radio buttons for '配信ゲートウェイアドレス' with 'LAN側IPアドレス' selected. The third section is for PPPoEブリッジ and UPnP, both with dropdown menus set to '使用する'. At the bottom left, there is a '設定' (Apply) button.

- [LAN 側 IP アドレス／マスク長]
LAN 側で使用する IP アドレス／マスク長を入力してください。
マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば 255.255.255.0 のマスク長は「24」となります。
(初期値 192.168.0.1/24)

- [DHCP サーバ]
本製品の DHCP サーバ機能を使用して、LAN 側のパソコンに IP アドレスの自動割り当てを行うか選択してください。

- ・使用する（初期値）
- ・使用しない



お願い

LAN側のネットワークに他のDHCPサーバが存在する場合は、「使用しない」を選択するなどの設定変更を行ってください。

パソコンに正しいIPアドレスが割り当てられず、本製品やインターネットへのアクセスができない場合があります。

- [割り当て先頭 IP アドレス]
LAN 側のパソコンなどに割り当てる最初の IP アドレスを指定してください。
(初期値 192.168.0.2)



お知らせ

LAN側インターフェースに設定したIPアドレスと、同じサブネットに属するアドレスでなければなりません。

- [割り当て IP アドレス個数]
開始 IP アドレスより何個分の IP アドレスを、LAN 側のパソコンなどのために確保するかを指定してください。最大 50 件まで確保できます。
(初期値 16)



お知らせ

- ・開始IPアドレスが「192.168.0.2」で、割り当て個数が「16」の場合（初期設定の場合）、LAN側で使用できるIPアドレスは以下のように確保されます。

192.168.0.2

192.168.0.3

⋮

192.168.0.17

- ・[LAN 側 IP アドレス/マスク長] で指定されたマスク長の値に応じて、割り当て最大個数は変化します。

- [リース時間]
DHCP サーバから割り当てられた IP アドレスの有効時間を、1～1440 分の間で指定してください。
(初期値 60)



お知らせ

パソコンを継続的に使用する場合は、リース期間の半分が経過した時点で、同じIPアドレスが自動的に割り当てられます。

- [配送ゲートウェイアドレス]
本製品の DHCP サーバ機能によって配布するゲートウェイアドレスを指定してください。

- ・ LAN 側 IP アドレス（初期値）
LAN 側に存在するパソコンから、本製品を経由してインターネットを利用する場合に選択してください。
- ・ IP アドレス指定
LAN 側に存在するパソコンから、本製品以外のルータを経由してインターネットを利用する場合に、経由するルータの IP アドレスを入力してください。

- [PPPoE ブリッジ]
PPPoE ブリッジを使用するか選択してください。
PPPoE ブリッジを使用すると、LAN 側に接続したパソコンやゲーム機などが PPPoE 機能を使用して直接通信することができます。

- ・ 使用する（初期値）
- ・ 使用しない

- [PPP キープアライブ機能]
PPP の接続状態を監視するか選択してください。
「使用する」を選択した場合、5 分毎に PPP の LCP Echo を送信して応答の有無をチェックし、3 回連続で応答がなければ PPP を切断し、再接続します。

- ・ 使用する
- ・ 使用しない（初期値）



お知らせ

<Software Version>が、01.00の場合のみ表示されます。

- [UPnP]
「使用する」を選択すると、パソコンから UPnP を使用したアプリケーションを利用できます。

- ・ 使用する（初期値）
- ・ 使用しない

1-2 NATアドレス変換設定

パケット中継時にポート番号の変換を行わない場合に設定します。ここで登録したポート番号を持つパケットについては、IPアドレスの変換のみが行われます。インターネット上の対戦ゲームや電子会議のようなネットワークアプリケーションを使用する場合には、そのアプリケーションが使うポート番号を変換しないよう設定することにより、使用可能となることがあります。（アプリケーションの仕様に依存します。）

NATアドレス変換設定 ヘルプ

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス


FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) **[セキュリティに注意]**
特定ホストのIPアドレス

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

お願い

- ・ポート番号も含めて変換したい場合は、「1-3 NATアドレス・ポート変換設定」( p. 10) から設定を行ってください。
- ・エントリ番号1~4は、ワンタッチ設定で使用されます。NATアドレス変換の個別設定は、できるだけエントリ番号1~4には設定しないようにしてください。ワンタッチ設定を後から行うと、ワンタッチ設定の内容で上書きされます。
- ・ワンタッチ設定を行ったときに、IPフィルタ設定の「外部装置から開始されるTCPセッションを遮断」がチェックされていると、設定エラーとなります。その場合は、先にIPフィルタ設定の「外部装置から開始されるTCPセッションを遮断」のチェックを外してください。

- [Web サーバを外部に公開する]
LAN 側に設置した Web サーバに外部からアクセスできるようにします。
Web サーバとして動作させる LAN 側パソコンの IP アドレスを入力してください。
- [FTP サーバを外部に公開する]
LAN 側に設置した FTP サーバに外部からアクセスできるようにします。
FTP サーバとして動作させる LAN 側のパソコン IP アドレスを入力してください。
- [外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する]
LAN 側に設置した 1 台のパソコンに外部からのすべてのパケットを中継します。
LAN 側のパソコン IP アドレスを入力してください。



お知らせ

外部からのパケットをすべて中継するため、NAT機能によるセキュリティの効果はなくなります。外部からの不正アクセスには十分ご注意ください。この設定を行うと、LANに接続した他のパソコンはインターネットへのアクセスができなくなります。

1 使用する「No.」をクリックします。

対応する NAT アドレス変換設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定

No.

優先度 (0:使用しない)

LAN側IPアドレス

ADSL側IPアドレス 自分のADSL側IPアドレス
 IPアドレス指定

プロトコル

ポート番号 (最小値-最大値の書式で入力)

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

- [優先度]
0~99 の数値で入力してください。「0」を入力するとその設定が無効になります。
値が小さいほど優先度が高くなります。
同一の優先度を複数入力することはできません。(「0」は除く)
- [LAN 側 IP アドレス]
使用する LAN 側パソコンの IP アドレスを入力してください。

- [ADSL 側 IP アドレス]
変換後の ADSL 側の IP アドレスを設定してください。
通常は「自分の ADSL 側 IP アドレス」を選択してください。

- ・ 自分の ADSL 側 IP アドレス（初期値）
- ・ IP アドレス指定

- [プロトコル]
変換対象となるプロトコルを次から選択してください。

- ・ TCP
- ・ UDP
- ・ TCP と UDP 両方
- ・ ICMP
- ・ 全プロトコル（共有）
- ・ 全プロトコル（占有）



お知らせ

「全プロトコル（共有）」を選択した場合は、外部からのアクセスは設定されたアドレスのパソコンのみ可能ですが、設定したアドレス以外のパソコンからもインターネットへアクセスできます。

- [ポート番号]
ポート番号を 1～65535 の数値で入力してください。範囲指定したい場合は、最小値と最大値を「-」（半角ハイフン）でつないでください。



お知らせ

- ・ プロトコルに次のいずれかを選択した場合のみ、ポート番号を入力してください。
 - ・ TCP
 - ・ UDP
 - ・ TCP と UDP 両方
- ・ 次のポート番号は名称で入力することができます。ただし、名称で入力した場合は範囲指定することができません。

| | | |
|------------|-------------|------------|
| 21 :ftp | 20 :ftpdata | 23 :telnet |
| 25 :smtp | 53 :domain | 80 :www |
| 110 :pop3 | 111 :sunrpc | 119 :nntp |
| 123 :ntp | 513 :login | 520 :route |
| 1723 :pptp | | |

2 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、反映されます。



お知らせ

- ・ **削除** をクリックすると、選択された番号の設定が削除されます。
また、**戻る** をクリックした場合、入力した値は反映されず NAT アドレス変換設定の一覧画面に戻ります。
- ・ NAT アドレス変換設定の設定/変更/削除を行った時点で、設定した内容が動作に反映されるため、その時点で通信しているセッションが途切れることがあります。
- ・ NAT アドレス変換は、最大 32 件まで設定できます。

1-3 NATアドレス・ポート変換設定

パケットの中継時にポート番号を別のポート番号に固定的に変換する場合に設定します。LAN側に接続された端末の上で実行中の特定のアプリケーションをADSL側に公開する場合などに使用します。

パケットの持つポート番号を変換しない場合は「1-2 NATアドレス変換設定」にて設定してください。(👉 p. 6)

NATアドレス・ポート変換設定

ヘルプ ?

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換に加えて、ポート番号を固定的に変換する場合に使用します。
設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | LAN側ポート番号 | ADSL側ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-----------|------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

1 使用する「No.」をクリックします。

対応する NAT アドレス・ポート変換設定画面が表示されます。

NATアドレス・ポート変換設定

ヘルプ ?

No. 1
優先度 (0使用しない)
LAN側IPアドレス
ADSL側IPアドレス 自分のADSL側IPアドレス
 IPアドレス指定
プロトコル
LAN側ポート番号
ADSL側ポート番号

(ftp/ftpdata/telnet/
smtp/www/pop3/sunrpc/
nntp/ntp/login/ggtp/
domain/route/1-85535)

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | LAN側ポート番号 | ADSL側ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-----------|------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

- [優先度]

0～99の数値で入力してください。「0」を入力するとその設定が無効になります。
値が小さいほど優先度が高くなります。
同一の優先度を複数入力することはできません。（「0」は除く）
- [LAN側IPアドレス]

使用するLAN側パソコンのIPアドレスを入力してください。
- [ADSL側IPアドレス]

変換後のADSL側のIPアドレスを設定してください。通常は「自分のADSL側IPアドレス」を選択してください。

 - ・自分のADSL側IPアドレス（初期値）
 - ・IPアドレス指定
- [プロトコル]

変換対象となるプロトコルを次から選択してください。

 - ・TCP
 - ・UDP
 - ・TCPとUDP両方
- [LAN側ポート番号]
- [ADSL側ポート番号]

ポート番号を1～65535の数値で入力してください。



お知らせ

- ・次のポート番号は名称で入力することができます。

| | | |
|------------|-------------|------------|
| 21 :ftp | 20 :ftpdata | 23 :telnet |
| 25 :smtp | 53 :domain | 80 :www |
| 110 :pop3 | 111 :sunrpc | 119 :nntp |
| 123 :ntp | 513 :login | 520 :route |
| 1723 :pptp | | |

- ・LAN側ポート番号とADSL側ポート番号に同じポート番号を入力した場合は、「1-2 NATアドレス変換設定」を行った場合と同様の動作をします。（ p. 6）

2 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、反映されます。



お知らせ

- ・ **削除** をクリックすると、選択された番号の設定が削除されます。
また、**戻る** をクリックした場合、入力した値は反映されず NAT アドレス・ポート変換設定の一覧画面に戻ります。
- ・ NAT アドレス・ポート変換の設定/変更/削除を行った時点で、設定した内容が動作に反映されるため、その時点で通信しているセッションが途切れることがあります。
- ・ NAT アドレス・ポート変換設定での設定内容は、NAT アドレス変換設定の設定内容より優先されます。
- ・ NAT アドレス・ポート変換は、最大 32 件まで設定できます。

1-4 IPフィルタ設定

ステートフル・パケット・インスペクション機能、アクセス制限機能、IP フィルタ機能の設定を行います。

IP フィルタ機能ではワンタッチ設定により簡単に IP フィルタ設定ができます。

IPフィルタ設定 ヘルプ

[ステートフル・パケット・インスペクション機能]

送信パケットの情報からその応答パケットの整合性を検査して、不正な応答パケットを破棄することができます。

[アクセス制限機能]

ADSL側インタフェースからの本装置へのWebブラウザによるアクセス等を禁止することができます。

ADSL側からのアクセスを禁止する

ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する

[IPフィルタ機能]

IPアドレス、プロトコル、ポート番号などの条件により、受信したIPパケットを中継あるいは非通過するように指定することができます。

ワンタッチ設定

プライベートアドレスを使用した外部装置との通信を禁止 (No.1～No.6を使用)

外部装置から開始されるTCPセッションを遮断 (No.7を使用)

外部とのWindows共有関係のトラフィックを遮断 (No.8～No.15を使用)

登録内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
登録を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | インタフェース | 送信元IPアドレス/マスク長 | 送信先IPアドレス/マスク長 | プロトコル | 送信元 |
|-----|-----|---------|----------------|----------------|-------|-----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

[ステートフル・パケット・インスペクション機能]


ステートフル・パケット・インスペクション機能を使用するか選択してください。

- ・使用する(初期値)
- ・使用しない

[アクセス制限機能]

- [ADSL 側からのアクセスを禁止する]
インタフェースについて、そこからの本製品へのアクセスを禁止するか指定してください。
- [ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する]
ADSL 側からのアクセスを禁止した場合でも、Ping に対する応答や、TCP の 113 番ポート (Ident) への接続要求に対する RST 応答は行います。

[IP フィルタ機能]

- [プライベートアドレスを使用した外部装置との通信を禁止]
インターネット上には、プライベートアドレス (10.0.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16) を持った端末装置は通常存在しません。この項目をチェックすることにより、発信元アドレスをプライベートアドレスにして、発信元を確認できないようにした (なりすまし) 端末装置からの、不正なアクセスを防止します。
なお、一部のサーバには、プライベートアドレスが使われている場合があります。この場合は、本項目のチェックを行わないでください。
- [外部装置から開始される TCP セッションを遮断]
Web 参照、FTP などの TCP セッションを外部から開始されて、LAN 側のパソコンを不正に操作される可能性があります。この項目をチェックすることにより、インターネット側の不特定ユーザから TCP でアクセスされることを防止します。
 お願い
本項目をチェックするときに、「NATアドレス変換設定」のワンタッチ設定のいずれかが設定されていると、設定エラーとなります。その場合は、本項目をチェックしないでください。
- [外部との Windows 共有関係のトラフィックを遮断]
Windows の共有を行った場合、不特定のユーザから自分のパソコンのファイルを参照、変更される可能性があります。この項目をチェックすることにより、外部装置との間で Windows 共有が行われなくなります。

1 使用する「No.」をクリックします。

対応する IP フィルタ設定画面が表示されます。

IPフィルタ設定

No. 1

優先度 (0:使用しない)

インタフェース

送信元IPアドレス/マスク長 /

送信先IPアドレス/マスク長 IPアドレス指定 /
 自分宛て LAN

プロトコル

送信元ポート番号 <<最小値-最大値の書式で入力>>

送信先ポート番号 <<最小値-最大値の書式で入力>>

IPフィルタアクション

| No. | 優先度 | インタフェース | 送信元IPアドレス/マスク長 | 送信先IPアドレス/マスク長 | プロトコル | 送信元 |
|-----|-----|---------|----------------|----------------|-------|-----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

● [優先度]

0~99 の数値で入力してください。「0」を入力するとその設定が無効になります。
値が小さいほど優先度が高くなります。
同一の優先度を複数入力することはできません。(「0」は除く)

● [インタフェース]

フィルタを行う場所を選択してください。

- ・ LAN 側から受信
- ・ LAN 側へ送信
- ・ ADSL 側から受信
- ・ ADSL 側へ送信

● [送信元 IP アドレス/マスク長]

フィルタするパケットの送信元 IP アドレス/マスク長を入力してください。
マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば 255.255.255.0 のマスク長は「24」となります。

- [送信先 IP アドレス／マスク長]
フィルタするパケットの送信先 IP アドレス／マスク長を入力してください。
マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば 255.255.255.0 のマスク長は「24」となります。
自分宛てのパケットのみを対象とする場合はインターフェース名から選択することもできます。



お知らせ

[送信元 IP アドレス／マスク長]、[送信先 IP アドレス／マスク長] で設定するマスク長は、アドレス範囲を設定するためのものです。
例えば、「192.168.1.2/32」と設定すると、192.168.1.2の端末のみアクセスが可能になり、「192.168.0.0/16」と設定すると、192.168で始まるアドレスを持つすべての端末からアクセスが可能になります。また、0.0.0.0/0で全ネットワークが対象となります。
実際のネットワークに与えられたサブネットマスクと一致させる必要はありません。

- [プロトコル]
フィルタするパケットのプロトコル番号を入力してください。
全プロトコルを対象とする場合は、「*」（アスタリスク）を入力してください。
特定のプロトコルを対象とする場合は、以下のプロトコル名を入力することもできます。

・ TCP ・ UDP ・ ICMP ・ TCP-SYN ・ TCP-FIN

- [送信元ポート番号]
- [送信先ポート番号]
フィルタするパケットの送信元ポート番号および送信先ポート番号を 1～65535 の数値で入力してください。
全ポート番号を対象とする場合は、「*」（アスタリスク）を入力してください。
ポート番号を範囲指定する場合は、最小値と最大値を「-」（半角ハイフン）でつないで入力してください。



お知らせ

次のポート番号は名称で入力することができます。

| | | |
|------------|-------------|------------|
| 21 :ftp | 20 :ftpdata | 23 :telnet |
| 25 :smtp | 53 :domain | 80 :www |
| 110 :pop3 | 111 :sunrpc | 119 :nntp |
| 123 :ntp | 513 :login | 520 :route |
| 1723 :pptp | | |

なお、プロトコルとポート番号の設定の組み合わせによるフィルタリング対象は以下のとおりです。

| プロトコル | ポート番号 | フィルタリング対象 |
|--------------------------------|-------|--|
| TCP/TCP-SYN/ TCP-FIN/UDP | * | 指定プロトコルの全ての ポート番号のパケット |
| TCP/TCP-SYN/ TCP-FIN/UDP | *以外 | 指定プロトコルの 指定ポート番号のパケット |
| TCP/TCP-SYN/ TCP-FIN/UDP 以外 | * | 指定プロトコルのパケット |
| TCP/TCP-SYN/ TCP-FIN/UDP 以外 | *以外 | <設定できません> |
| * | * | 全てのプロトコルのパケット (ただし、TCP, TCP-SYN, TCP-FIN, UDP は全てのポート番号が対象) |
| * | *以外 | 全てのプロトコルのパケット (ただし、TCP, TCP-SYN, TCP-FIN, UDP は指定ポート番号のみが対象) |

● [IP フィルタアクション]

フィルタ定義に合致したパケットのフィルタ動作を選択してください。

- ・ 通過
- ・ 非通過

2 設定 をクリックします。

設定内容が保存され、反映されます。

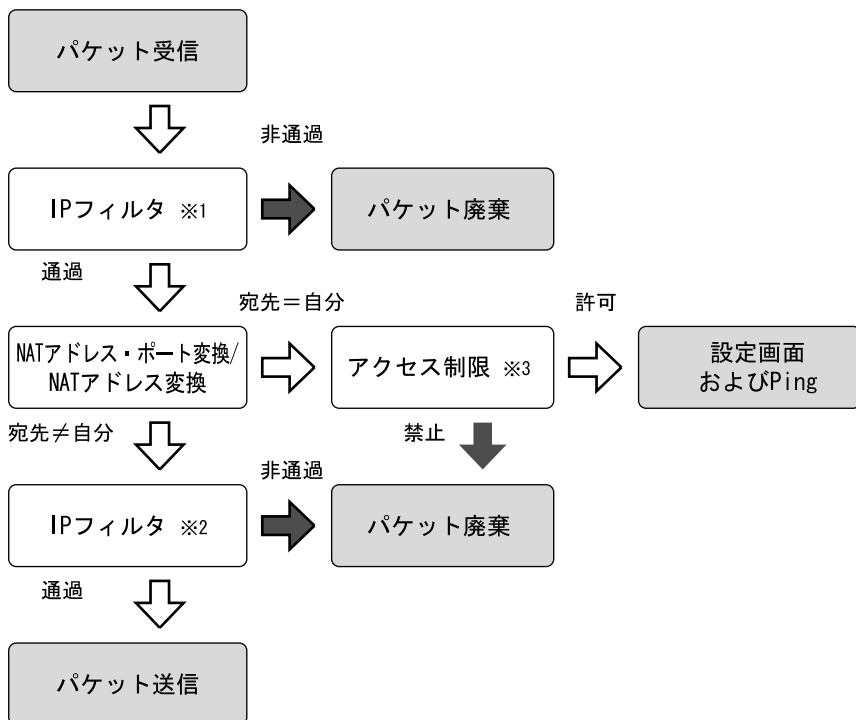


お知らせ

- ・ **削除** をクリックすると、選択された番号の設定が削除されます。また、**戻る** をクリックした場合、入力した値は反映されず IP フィルタ設定の一覧画面に戻ります。
- ・ IP フィルタ設定の設定/変更/削除を行った時点で、設定した内容が動作に反映されるため、その時点で通信しているセッションが途切れることがあります。
- ・ IP フィルタは、最大 50 件まで設定できます。

NAT 機能/IP フィルタ設定の関係

本製品の NAT アドレス変換設定、NAT アドレス・ポート変換設定、IP フィルタ設定の関係について下図に示します。



※1： インタフェースとして、「〇〇〇から受信」を選択した場合。

※2： インタフェースとして、「〇〇〇へ送信」を選択した場合。

※3： LAN 側から受信したパケットについては、常に「許可」になります。

ADSL 側については、IP フィルタ設定画面から設定します。

2 表示

2-1 機器情報

通信が途切れたときなど、障害の有無を参照できます。
また、ログ内容により機器状態の変化が分かります。



お知らせ

ADSL 回線状態で表示されるリンク速度は、実際のスループットとは異なります。

機器情報

機器状態情報

PPPoEの状態 確立 (64.149.208.202:202.71.10.100-100)

PPPの状態 確立

ADSL IP : 67.210.198.15

Peer IP : 67.210.198.1

DNS Server : 202.246.27.74 (Primary)

: 202.246.20.120 (Secondary)

ADSL回線状態 通信中(上り 800kbps 下り 1798kbps)

G.992.1 Annex C(上り 4dB 下り 6dB)

LANリンク状態 通信中 (100Mbps 全二重)

ハードウェア状態 正常

ログ情報

(現在の時刻:2007/02/16 13:24:21)

| 時刻 | ログ |
|---------------------|-----------------|
| 2007/02/16 11:42:43 | PPP-IPCPの確立 |
| 2007/02/16 11:42:43 | PPP-LCPの確立 |
| 2007/02/16 11:42:41 | PPPoE セッション開始成功 |

● [機器状態情報]

・ PPPoE の状態

PPPoE による接続の状況が表示されます。

| | |
|--------|--------------------|
| 確立 | : セッションが確立しています。 |
| AC 選択中 | : PPPoE サーバの選択中です。 |
| AC 探索中 | : PPPoE サーバの探索中です。 |
| 停止中 | : 停止しています。 |

・ PPP の状態

PPP の進行状態が表示されます。

| | |
|--------|--------------------|
| 確立 | : PPP リンクが確立しています。 |
| IPCP 中 | : IP アドレス取得中です。 |
| LCP 中 | : 認証方法の確認および認証中です。 |
| 停止中 | : 停止しています。 |



お知らせ

PPP が確立した場合、次の情報が合わせて表示されます。

| | |
|------------|-------------------|
| ADSL IP | : ADSL 側 IP アドレス |
| Peer IP | : 接続相手先 IP アドレス |
| DNS Server | : DNS サーバ IP アドレス |

・ ADSL 回線状態

現在使用中の ADSL 回線の状態が表示されます。

| | |
|---------|---|
| 通信中 | : 局側装置との ADSL リンクが確立しています。 接続モード (Quad Spectrum/G. dmt Annex I/ G. dmt AnnexC/G. dmt Annex C(FBMsOL)/LD-T1F/ G. lite AnnexC) と上り、下りのリンク速度、ノイズマージンも表示されます。 |
| トレーニング中 | : 局側装置と接続を確立するためのトレーニングを実行中です。 |
| 接続待ち | : 局側装置の応答待ちです。 |
| アイドル | : 停止しています。 |

・ LAN リンク状態

Ethernet LAN インタフェースのリンク状態が表示されます。

| | |
|-----|--|
| 通信中 | : 接続が確立しています。動作モード (10Mbps/100Mbps、 全二重/半二重) も合わせて表示されます。 |
| 停止中 | : 接続機器とのリンクが確立していません。 |
| 異常 | : 何らかの異常が発生し、停止しています。 |

・ ハードウェア状態

本製品のハードウェア状態が表示されます。

| | |
|----|--------------------|
| 正常 | : ハードウェアに問題はありません。 |
| 異常 | : 何らかの異常が検知されています。 |

● [ログ情報]

ログ情報には、起動直後からメモリ上に蓄積されているログの内容が、最新のものから順に表示されます。



お知らせ

- ・局側装置によっては、本製品起動時点を0時とする相対時刻で表示されている場合があります。この場合は、「3-2 時刻設定」(👉 p. 31)をご参照ください。
- ・時刻設定が行われるまでに再起動を繰り返した場合、1970年を起点とした日時でログが残ることがありますが、異常ではありません。
- ・最大200件までのログが蓄積されます。
200件を超えると、古いものから順に削除されます。

2-2 セキュリティログ


本製品が起動直後からメモリ上に蓄積しているセキュリティに関するログの内容を表示します。

セキュリティログは以下のようなパケットの受信記録です。

- ・外部から受信したパケットのうち、NAT アドレス変換、NAT アドレス・ポート変換、IP フィルタや、SPI（ステートフル・パケット・インスペクション）によって廃棄したパケット
- ・IP フィルタのアクセス制限機能により、本製品へのアクセスを拒否したパケット




お知らせ

- ・ログは絶対時刻とともに保存されており、最新のものから順に表示されます。ただし、局側装置によっては絶対時刻ではなく、本製品起動時点を0時とする相対時刻で表示される場合もあります。「3-2 時刻設定」( p. 31) で時刻を設定してください。
- ・最大200件までのログが表示されます。200件を超えると、古いものから順に削除されます。

| セキュリティログ | | | | | ヘルプ  |
|---------------------|---------------------|---------------------|-------|------------|---|
| 受信時間 | 送信元IPアドレス/ポート | 宛先IPアドレス/ポート | プロトコル | アクション | |
| 2007/02/16 13:50:03 | 200.70.78.162 | 81.210.104.254 | ICMP | 廃棄[アクセス制限] | |
| 2007/02/16 13:49:55 | 81.210.104.254/2715 | 81.210.104.254/2715 | TCP | 廃棄[IPフィルタ] | |
| 2007/02/16 13:49:53 | 219.19.2482.9348 | 81.210.104.254/2715 | UDP | 廃棄[NAT] | |
| 2007/02/16 13:49:09 | 81.210.104.254/2715 | 81.210.104.254/2715 | TCP | 廃棄[IPフィルタ] | |
| 2007/02/16 13:49:06 | 219.19.2482.9348 | 81.210.104.254/2715 | UDP | 廃棄[NAT] | |

2-3 NATテーブル

アドレス変換に使用している NAT テーブルを参照できます。
自動的に生成されたテーブルと、NAT アドレス変換、NAT アドレス・ポート変換で設定したもので、使用しているものが表示されます。

| NATテーブル | | | | | ヘルプ  |
|--|-------|------------------|--------------------|---------|---|
| 現在の登録件数: 4/512 | | | | | |
| 現在の登録を消去するには消去ボタンを押してください。 <input type="button" value="消去"/> | | | | | |
| ※消去を行った場合、一時的にすべての通信が不通となります。 | | | | | |
| プライベートアドレス/ポート | プロトコル | グローバルアドレス/ポート | 宛先アドレス/ポート | 有効期限(秒) | |
| 192.168.0.2/- | ICMP | 219.87.15.111/- | 202.216.247.246/- | 57 | |
| 192.168.0.2/- | ICMP | 219.87.15.111/- | 219.87.15.1/- | 37 | |
| 192.168.0.2/32 | TCP | 219.87.15.111/32 | 210.135.101.144/80 | 8795 | |
| 219.87.15.111/32 | UDP | 219.87.15.111/32 | 202.246.27.74/52 | 54 | |

・現在の登録件数

現在 NAT テーブルに記憶されている NAT エントリの件数／最大登録件数が表示されます。




お知らせ


登録件数が最大登録数に近づいたときは をクリックして登録件数をクリアしてください。

2-4 UPnPログ

ログ内容により UPnP の状態変化を参照できます。

お知らせ

- ・ ログは絶対時刻とともに保存されており、最新のものから順に表示されます。ただし、局側装置によっては絶対時刻ではなく、本製品起動時点を0時とする相対時刻で表示される場合もあります。「3-2 時刻設定」 ( p.31 ページの) で時刻を設定してください。
- ・ 最大100件までのログが表示されます。100件を超えると、古いものから順に削除されます。

| UPnPログ | | ヘルプ  | | | | |
|---------------------|-------------|---|----|-------------|-------|---------|
| 時間 | 要求元IPアドレス | 要求内容 | 状態 | サービスホスト | プロトコル | 内部ポート番号 |
| 2007/02/16 13:51:01 | 192.168.0.2 | サービスの削除 | 有効 | 192.168.0.2 | TCP | 4670 |
| 2007/02/16 13:51:00 | 192.168.0.2 | サービスの登録 | 有効 | 192.168.0.2 | TCP | 4670 |

- ・ 時間
リクエストを本製品が受け取った時間が表示されます。ログは絶対時間で表示されますが、局側装置によっては絶対時刻ではなく、本製品起動時点を 0 時とする相対時刻で表示される場合もあります。
- ・ 要求元 IP アドレス
リクエストを送信した IP アドレスが表示されます。

- ・ 要求内容
 - リクエストの内容が表示されます。
 - UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報が操作された場合
 - サービスの登録
 - : UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報が新規登録された
 - サービスの削除
 - : UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報が削除された
 - サービスの更新
 - : UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報が更新された
 - サービスの全削除
 - : UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報が、UPnP NAT 設定情報画面の **消去** ボタンを押されたことにより、全削除された。
 - 登録不可
 - : UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報が最大件数（80 件）を超えた
 - PPP 接続・切断要求があった場合
 - PPP 接続要求 : PPP の接続要求があった
 - PPP 切断要求 : PPP の切断要求があった
- ・ 状態
 - 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の状態が表示されます。
 - 有効 : 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報は使用されている
 - 無効 : 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報は使用されていない
- ・ サービスホスト
 - 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の LAN 側 IP アドレスが表示されます。
- ・ プロトコル
 - 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報のプロトコルが表示されます。TCP または UDP のいずれかが表示されます。
- ・ 内部ポート番号
 - 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の LAN 側ポート番号が表示されます。
- ・ 外部ポート番号
 - 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の ADSL 側ポート番号が表示されます。
- ・ 有効期限
 - UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の有効期限が秒数で表示されます。
 - Windows/MSN Messenger から設定される NAT アドレス変換設定情報はすべて“無期限”が設定されています。


2-5 UPnP コントロールポイントテーブル

本製品で認識された UPnP 対応のソフトウェアが動作しているパソコンの、IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。



お知らせ

最大16件までが表示されます。UPnPを使用するCPIは、10台以下でを使用することをお勧めします。

| UPnP コントロールポイントテーブル | | ヘルプ  |
|---------------------|--------------|---|
| IPアドレス | MACアドレス | |
| 192.168.0.2 | 080058153472 | |

2-6 UPnP NAT設定情報

登録された UPnP NAT 設定の内容を参照できます。

UPnP NAT設定情報 ヘルプ

現在の登録件数: 2/80

現在の登録を消去するには消去ボタンを押してください。

※消去を行った場合、一時的にすべての通信が不通となります。

| 状態 | サービスホスト | プロトコル | 内部ポート番号 | 外部ポート番号 | 有効期限(秒) | サービスの説明 |
|----|-------------|-------|---------|---------|---------|----------------------------|
| 有効 | 192.168.0.2 | UDP | 8326 | 11488 | 無期限 | msnmsgr (192.168.0.2:8326) |
| 有効 | 192.168.0.4 | TCP | 18896 | 18896 | 無期限 | msnmsgr |

- ・ 現在の登録件数
現在 UPnP NAT テーブルに記憶されている UPnP NAT エントリの件数／最大登録件数が表示されます。
- ・ 状態
登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の状態が表示されます。
 - 有効 : 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報は使用されている。
 - 無効 : 登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報は使用されていない。
- ・ サービスホスト
登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の LAN 側 IP アドレスが表示されます。
- ・ プロトコル
登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報のプロトコルが表示されます。TCP または UDP のいずれかが表示されます。
- ・ 内部ポート番号
登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の LAN 側ポート番号が表示されます。
- ・ 外部ポート番号
登録された UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の ADSL 側ポート番号が表示されます。

- ・有効期限（秒）
UPnP 用の NAT アドレス変換設定情報の有効期限が秒数で表示されます。
Windows/MSN Messenger から設定される NAT アドレス変換設定情報はすべて“無期限”が設定されています。
- ・サービスの説明
Messenger など UPnP 対応のソフトウェアによって設定された説明が最大 60 文字で表示されます。



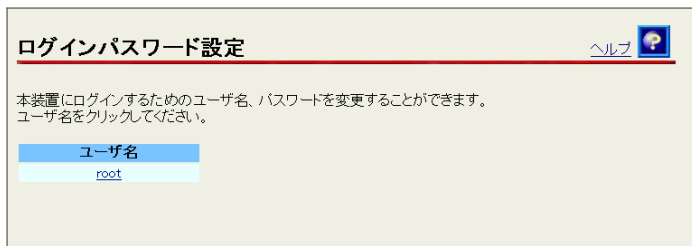
お知らせ

登録件数が最大登録数に近づいたときは **消去** をクリックして登録件数をクリアしてください。

3 保守

3-1 ログインパスワード設定

本製品へアクセスするためのユーザ名、パスワードを設定します。



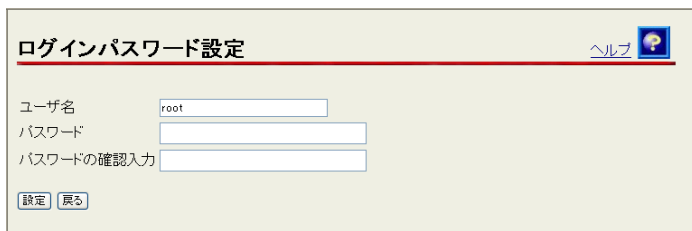
ログインパスワード設定 [ヘルプ](#)

本装置にログインするためのユーザ名、パスワードを変更することができます。
ユーザ名をクリックしてください。

ユーザ名
root

1 「ユーザ名」をクリックします。

ログインパスワード変更の画面が表示されます。



ログインパスワード設定 [ヘルプ](#)

ユーザ名

パスワード

パスワードの確認入力

2 [ユーザ名]、[パスワード]、[パスワードの確認入力]を入力します。



お知らせ

- ・ 32文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。
ただし、< > ¥ ' " ? & % = : ; @ / は使用できません。大文字と小文字は区別されます。
- ・ パスワードおよびパスワードの確認入力欄の入力文字は、すべて“●”や“*”に置き換わって表示されます。
- ・ パスワードの確認入力欄で異なるパスワードを入力した場合は、エラー画面が表示されます。パスワード、パスワードの確認入力欄の入力操作をやり直してください。
- ・ ユーザ名またはパスワードを空白に設定することができません。また、スペースのみで設定することもできません。

3 設定 をクリックします。

設定が反映されます。




お願い

設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、PPP、LANおよびALARMの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わり、Web画面表示が切り替わるまでは、本製品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本製品が動作しなくなります。



お知らせ

- ・ 新しいユーザ名、パスワードが設定されると、別の画面に移るときにログインパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。新しく設定したユーザ名、パスワードを入力すると、引き続いてWebブラウザによる操作ができます。
- ・ 設定したログインユーザ名やパスワードを忘れて、本製品へアクセスできなくなった場合は、初期設定で起動することができます。
( 「お使いになる前に 「6-1 本製品の初期化」)

3-2 時刻設定

本製品の時刻を設定します。

1 時刻を設定して、**設定** をクリックします。

現在接続中のパソコンの時計から時刻を取得して設定する場合は、**自動的に取得して設定** をクリックします。

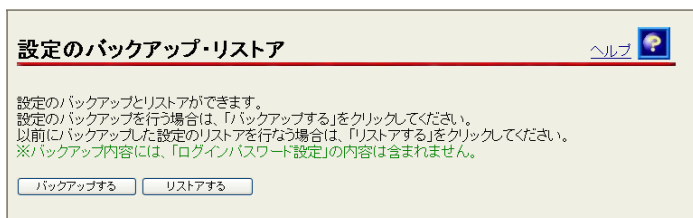


お知らせ

- ・局側の設備によっては、自動的に時刻設定されます。その場合は、手動による時刻設定の必要はありません。（最後に設定された時刻が有効になります。）
- ・設定された時刻は本製品の電源を切るまで有効です。電源を切らずに再起動する場合は、設定内容は保存されます。
- ・時刻表示はあくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は再度設定を行ってください。

3-3 設定のバックアップ・リストア

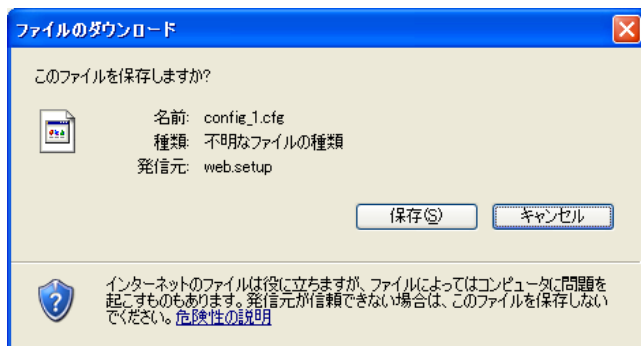
設定した各種内容は、すべて本製品のフラッシュメモリ内に保存されます。メモリ内に保存された設定をパソコンにバックアップし、そのファイルをリストアすることで、設定内容を戻すことができます。



3-3-1 バックアップ

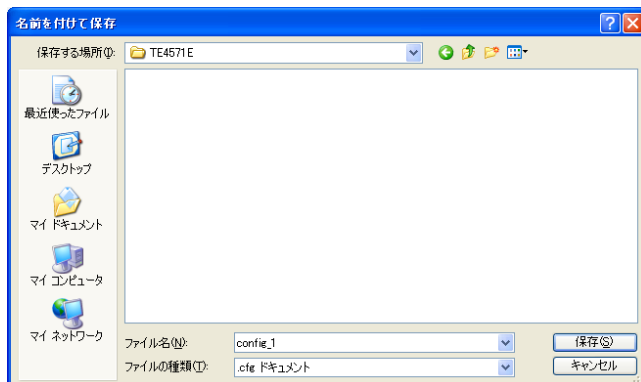
1 バックアップする をクリックします。

ファイルのダウンロード画面が表示されます。



2 保存 をクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されます。



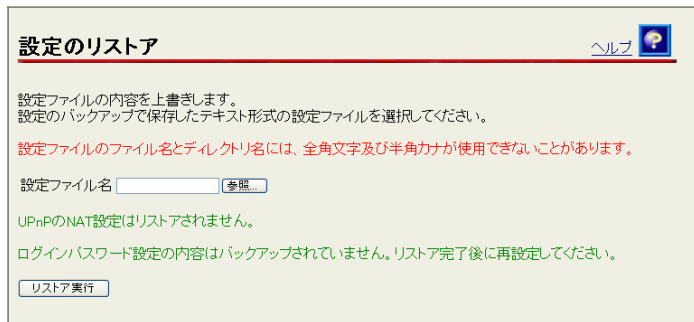
3 保存する場所を選択し、ファイル名を入力した後、保存 をクリックします。

ファイルが保存され、バックアップ作業が終了します。

3-3-2 リストア

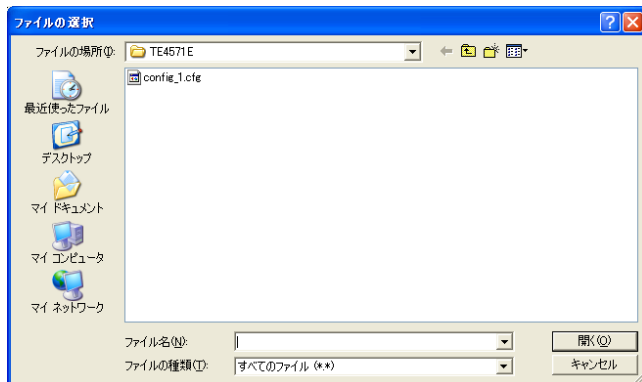
1 リストアする をクリックします。

設定のリストア画面が表示されます。



2 参照 をクリックします。

ファイルの選択画面が表示されます。

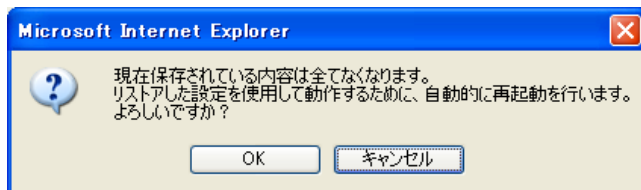


3 設定ファイル名を指定し、開く をクリックします。

設定ファイル名欄にファイル名が表示されます。

4 リストア実行 をクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。



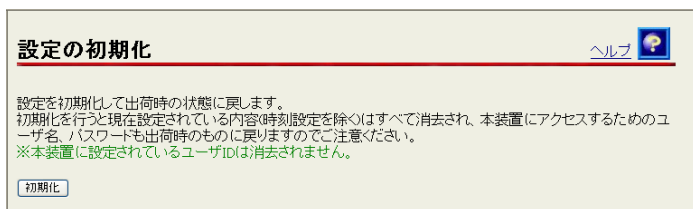
5 OK をクリックします。

リストアが完了すると自動的に再起動を行い、再表示を促すページが表示されます。ALARM ランプが消灯すれば再起動は完了です。

再表示 をクリックして画面を再表示してください。復元された設定で動作します。

3-4 設定の初期化

設定を間違えてやり直したい場合など、初期設定に戻すことができます。



STOP

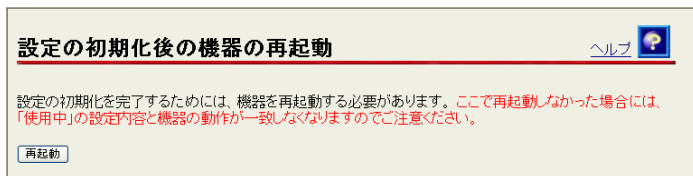
お願い

設定内容はフラッシュメモリに書き込まれます。

書き込み中は、前面の各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わり、Web画面表示が切り替わるまでは、本製品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本製品が動作しなくなります。

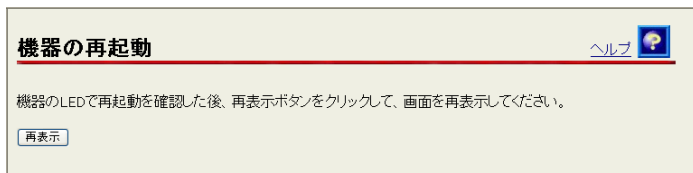
1 初期化 をクリックします。

確認画面が表示されます。



2 再起動 をクリックします。

本製品が再起動し、初期化が完了します。



3 再表示 をクリックします。

工場出荷時の状態で起動します。

3-5 ループバックテスト

本製品と電話局施設間の動作が正しいか確認します。



1 実行 をクリックします。

ループバックテスト結果が表示されます。



テスト結果が成功であれば、電話局施設との通信経路が確立しています。

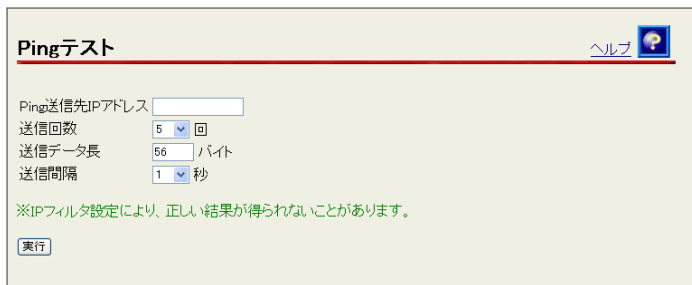


お知らせ

ループバックテストにはATMのOAMセルを用いています。

3-6 Pingテスト

ICMP Ping 機能を使って、ネットワーク上の任意の装置と本製品との通信が可能かテストできます。

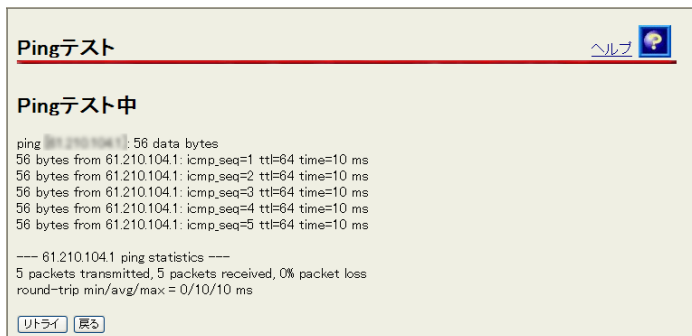


The screenshot shows a web-based utility titled "Pingテスト". It features a header with a "ヘルプ" (Help) link and a question mark icon. The main area contains four input fields: "Ping送信先IPアドレス" (a text box), "送信回数" (a dropdown menu set to "5" with a "回" unit), "送信データ長" (a text box set to "56" with a "バイト" unit), and "送信間隔" (a dropdown menu set to "1" with a "秒" unit). Below these fields is a note: "※IPフィルタ設定により、正しい結果が得られないことがあります。" (Note: Due to IP filter settings, correct results may not be obtained). At the bottom left is a button labeled "実行" (Execute).

- [Ping 送信先 IP アドレス]
Ping 送信先 IP アドレスを入力してください。
- [送信回数]
1～10 の数値で選択してください。(初期値 5)
- [送信データ長]
Ping パケットに含まれるデータ部分の長さを、4～4088 の数値で入力してください。(初期値 56)
- [送信間隔]
1～10 の数値で選択してください。(初期値 1)

1 実行 をクリックします。

テストが始まります。



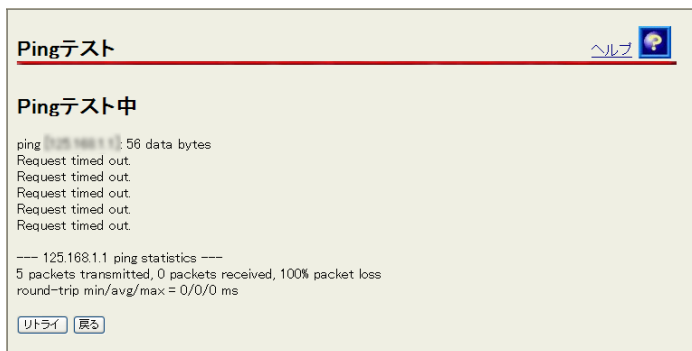
The screenshot shows a web interface for a Ping test. At the top, it says "Pingテスト" with a "ヘルプ" link and a question mark icon. Below that, it says "Pingテスト中". The main content area displays the following text:

```
ping 61.210.104.1 : 56 data bytes
56 bytes from 61.210.104.1: icmp_seq=1 ttl=64 time=10 ms
56 bytes from 61.210.104.1: icmp_seq=2 ttl=64 time=10 ms
56 bytes from 61.210.104.1: icmp_seq=3 ttl=64 time=10 ms
56 bytes from 61.210.104.1: icmp_seq=4 ttl=64 time=10 ms
56 bytes from 61.210.104.1: icmp_seq=5 ttl=64 time=10 ms

--- 61.210.104.1 ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0/10/10 ms
```

At the bottom of the main content area, there are two buttons: "リトライ" and "戻る".

テストが失敗した場合は設定を再確認してください。（失敗時の画面例）



The screenshot shows a web interface for a Ping test. At the top, it says "Pingテスト" with a "ヘルプ" link and a question mark icon. Below that, it says "Pingテスト中". The main content area displays the following text:


```
ping 125.188.1.1 : 56 data bytes
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

--- 125.188.1.1 ping statistics ---
5 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
round-trip min/avg/max = 0/0/0 ms
```

At the bottom of the main content area, there are two buttons: "リトライ" and "戻る".



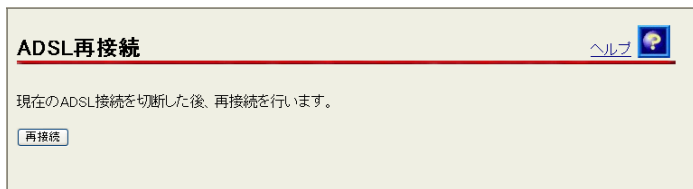
お知らせ

IPフィルタ設定の「ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する」が選択されていないと失敗します（ 「1-4 IPフィルタ設定」 p. 13）

また、LAN側のパソコンからpingテストを実施した後は、外部の機器との間で、本テストが失敗することがあります。

3-7 ADSL再接続

ADSL 回線の速度が一時的なノイズなどで低下した場合に、速度を回復できることがあります。



1 再接続 をクリックします。

ADSL 再接続中のページが表示され、ADSL 回線の再接続が行われます。



2 戻る をクリックします。



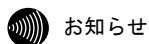
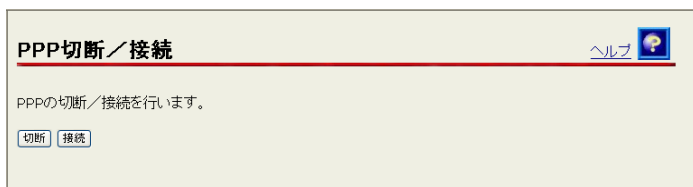
お知らせ

ADSL回線の再接続終了後も、特に画面の表示に変化はありません。

ADSLランプで「接続」状態が確認できたら、機器情報画面で「ADSL回線状態」が「通信中」であることをご確認ください。

3-8 PPP切断/接続

PPPの切断と接続ができます。

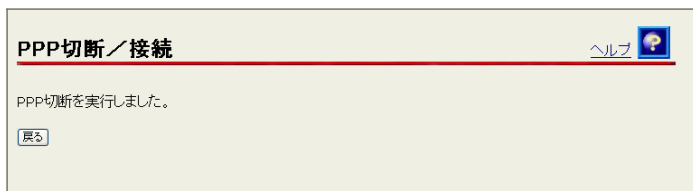


お知らせ

PPPの切断を実行した後は、接続を実行してください。
実行しないとPPPによる接続ができません。

1 **切断** または **接続** をクリックします。

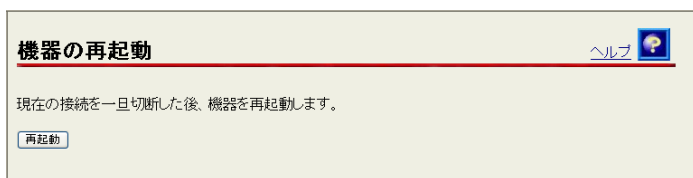
結果が表示されます。（画面は切断時の画面です）



2 **戻る** をクリックします。

3-9 機器の再起動

Web ブラウザから本製品の再起動ができます。



お知らせ

再起動が完了した時点で、設定された内容に従って本製品が起動します。

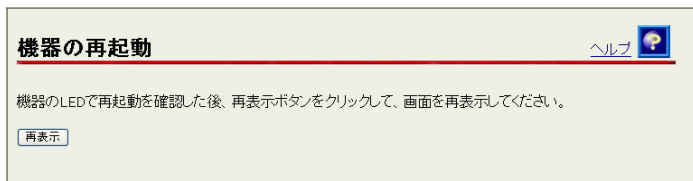
1 再起動 をクリックします。

再起動中画面が表示され、本製品が再起動します。



お知らせ

再起動中には、Webブラウザから本製品にアクセスできません。



ALARM ランプが消灯すれば再起動は完了です。

2 再表示 をクリックします。

3-10 バージョンアップ

当社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードして、接続したパソコンから手動でファームウェアのバージョンアップができます。

ファームウェアとは

ファームウェアとは、本製品の基本的な動作を制御するために組み込まれたソフトウェアのことです。

ファームウェアをバージョンアップすることで、本製品の機能を向上することができます。常に最適な状態で機器をご使用いただくために、最新のファームウェアにバージョンアップしながらご使用いただくことをお勧めします。

お願い

ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のALARMと各ランプが点滅します。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本製品が動作しなくなります。ALARMランプの点滅が終わるまでは、本製品の電源を切らないでください。

お知らせ

本製品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。各種設定内容やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給が途切れても内容が保持されます。

1 最新のファームウェアをホームページからダウンロードします。

ホームページの URL は別紙をご参照ください。

2 最新のファームウェアをパソコン上の適切なディレクトリ(フォルダ)に置きます。

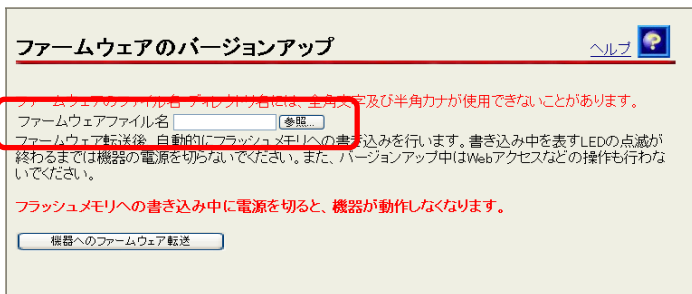
お願い

ファームウェアのファイル名・ディレクトリ名には、全角文字および半角カナが使用できないことがあります。

3 本製品にアクセスします。

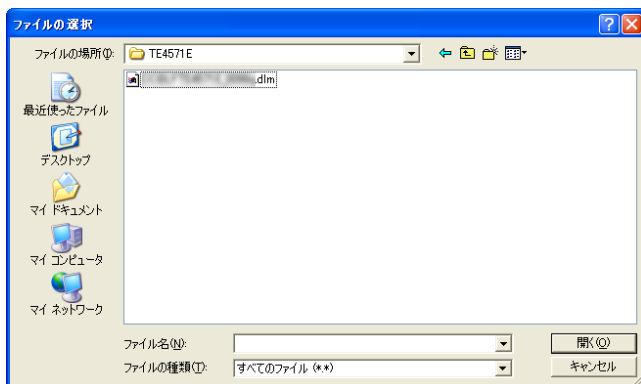
4 メニューフレームの「バージョンアップ」をクリックします。

ファームウェアのバージョンアップ画面が表示されます。



5 参照 をクリックします。

ファイルの選択画面が表示されます。

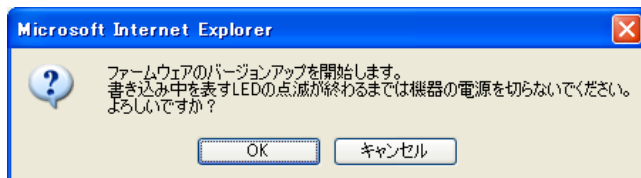


6 ファームウェアファイルを選択し、「開く」をクリックします。

ファームウェアのバージョンアップ画面に戻ります。

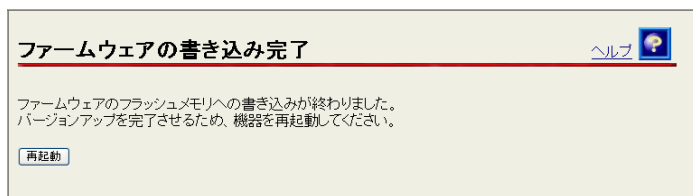
7 機器へのファームウェア転送 をクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

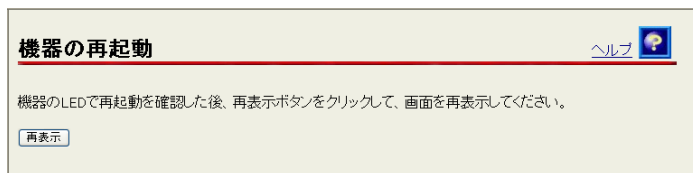


8 OK をクリックします。

バージョンアップが開始されます。



9 再起動 をクリックします。



10 再表示 をクリックします。

以上で、ファームウェアのバージョンアップは終了です。

4 設定例

4-1 外部にサーバ(Web、FTP)を公開する

初期設定では、LAN 内に設置した Web サーバや FTP サーバをインターネットに向けて公開することができません。

これは、本製品に搭載されている NAT 機能により、本製品の LAN 側とインターネット側が完全に分離され、インターネット側から直接 LAN 側に設置されたパソコンに対して通信を開始できないことが原因です。この仕組みにより、インターネット側からの攻撃を防ぐことができますが、その一方で、LAN 内に設置された Web サーバにインターネット側からアクセスできないという状態にもなります。

以下の手順に従って本製品に対して開始された通信を、LAN 内のパソコンに転送する設定を行うことで、Web サーバや FTP サーバを公開することができます。



お願い

外部からの不正アクセスが行われやすくなります。

ご使用のパソコンにパーソナルファイアウォールソフトなどを導入されることをお勧めします。



お知らせ

事前に Web サーバや FTP サーバを用意し、LAN 内で正常にアクセスできることをご確認ください。

1 メニューフレームの「IP フィルタ」をクリックします。

IP フィルタ設定画面が表示されます。

IPフィルタ設定

ヘルプ

[ステートフル・パケット・インスペクション機能]

送信パケットの情報からその応答パケットの整合性を検査して、不正な応答パケットを破棄することができます。

[アクセス制限機能]

ADSL側インタフェースからの本装置へのWebブラウザによるアクセス等を禁止することができます。

ADSL側からのアクセスを禁止する

ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する

[IPフィルタ機能]

IPアドレス、プロトコル、ポート番号などの条件により、受信したIPパケットを中継あるいは非通過するように指定することができます。

ワンタッチ設定

ブランド名/ポートアドレスを使用した外部装置との通信を禁止 (No.4、No.6を使用)

外部装置から開始されるTCPセッションを遮断 (No.7を使用)

Windows共有フォルダ/オフラインを遮断 (No.8、No.10を使用)

登録内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
登録を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | インタフェース | 送信元IPアドレス/マスク長 | 送信先IPアドレス/マスク長 | プロトコル | 送信 |
|-----|-----|---------|----------------|----------------|-------|----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

2 「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックを外します。

3 設定 をクリックします。

4 メニューフレームの「NAT アドレス変換」をクリックします。

NAT アドレス変換設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定 [ヘルプ](#)

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) [セキュリティに注意]
特定ホストのIPアドレス

設定

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

5 公開するための設定をします。

【Web サーバを公開する場合】

- ① 「Web サーバを外部に公開する」をチェック。
- ② 「Web サーバの IP アドレス」に公開するパソコンの IP アドレスを入力。

【FTP サーバを公開する場合】

- ③ 「FTP サーバを外部に公開する」をチェック。
- ④ 「FTP サーバの IP アドレス」に公開するパソコンの IP アドレスを入力。

6 設定 をクリックします。

以上で、Web サーバや FTP サーバにインターネット側からアクセスできるようになります。

Web サーバへのアクセス手順

公開した Web サーバに対し、インターネット側からアクセスするための IP アドレスを参照します。

1 メニューフレームの「機器情報」をクリックします。

機器情報画面が表示されます。

機器情報 ヘルプ ?

機器状態情報

PPPoEの状態 確立 ()
PPPの状態 確立
ADSL IP : 213.199.133.133
Peer IP : 213.199.133.133
DNS Server : 213.199.133.133 (Primary)
 : 213.199.133.133 (Secondary)

ADSL回線状態 通信中(上り 800kbps 下り 1798kbps)
 G.992.1 Annex C(上り 4dB 下り 6dB)

LANリンク状態 通信中 (100Mbps 全二重)
ハードウェア状態 正常

ログ情報

(現在の時刻:2007/02/16 13:24:21)

| 時刻 | ログ |
|---------------------|-----------------|
| 2007/02/16 11:42:43 | PPP-IPCPの確立 |
| 2007/02/16 11:42:43 | PPP-LCPの確立 |
| 2007/02/16 11:42:41 | PPPoE セッション開始成功 |

2 「ADSL IP」欄に表示されている IP アドレスを確認します。

3 他パソコンの Web ブラウザから手順 2 で確認した IP アドレスを入力し、「Enter」キーを押します。

Web サーバに格納されたホームページが表示されれば成功です。



お知らせ

ADSLやPPPoEが一旦途切れ、再接続された場合、「ADSL IP」欄のIPアドレスが変わってしまいます。その場合は、再度IPアドレスを相手側に通知してください。

4-2 ネットワークゲームをする

本製品に限らずブロードバンドルータを使用した場合、ビデオチャットやネットワーク対戦ゲームの一部に、動作しないものがあります。

これらを解消するために、本製品の ADSL 側ポート（グローバル IP アドレス）に届いた通信のうち、ビデオチャットやネットワーク対戦ゲームで使用される TCP/UDP のポートを特定のパソコンに転送することで対応できます。

ここでは

- ・ TCP ポート 100、UDP ポート 110～120 を使用するアプリケーションを、192.168.0.200 という IP アドレスをつけたパソコンで実行
- ・ NAT アドレス変換設定の「No5」「No6」を使用

を例に説明します。

実際に設定される場合は、お客様の任意で設定してください。



お願い

外部からの不正アクセスが行われやすくなります。

ご使用のパソコンにパーソナルファイアウォールソフトなどを導入されることをお勧めします。



お知らせ

- ・ ビデオチャットやネットワーク対戦ゲームなどのアプリケーションで使用する TCP/UDP のポート番号は、使用するアプリケーションの取扱説明書か、製造・販売元にご確認ください。
- ・ アプリケーションが使用する TCP/UDP のポート番号が分からない場合や、本設定を行ってもアプリケーションが正しく動作しない場合は、基本設定画面の [PPPoEブリッジ] (👉 p.3) を「使用する」に設定し、パソコンなどに直接グローバルIPアドレスを割り当ててご利用ください。

1 メニューフレームの「IP フィルタ」をクリックします。

IP フィルタ設定画面が表示されます。

IPフィルタ設定

ヘルプ

[ステートフル・パケット・インスペクション機能]

送信パケットの情報からその応答パケットの整合性を検査して、不正な応答パケットを破棄することができます。

[アクセス制限機能]

ADSL側インタフェースからの本装置へのWebブラウザによるアクセス等を禁止することができます。

ADSL側からのアクセスを禁止する

ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する

[IPフィルタ機能]

IPアドレス、プロトコル、ポート番号などの条件により、受信したIPパケットを中継あるいは非通過するように指定することができます。

ワンタッチ設定

ブランド名/プロトコルを使用した外部装置との通信を禁止 (No.4、No.6を使用)

外部装置から開始されるTCPセッションを遮断 (No.7を使用)

Windows共有関係のドライブと遮断 (No.8、No.10を使用)

登録内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
登録を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | インタフェース | 送信元IPアドレス/マスク長 | 送信先IPアドレス/マスク長 | プロトコル | 送信 |
|-----|-----|---------|----------------|----------------|-------|----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

2 「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックを外します。

3 設定 をクリックします。

4 メニューフレームの「NAT アドレス変換」をクリックします。

NAT アドレス変換設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定 ヘルプ ?

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) [セキュリティに注意]
特定ホストのIPアドレス

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

5 No.5 をクリックします。

対応する設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定 ヘルプ ?

No. 5

優先度 (0:使用しない)

LAN側IPアドレス

ADSL側IPアドレス 自分のADSL側IPアドレス
 IPアドレス指定

プロトコル ▼

ポート番号 (最小値-最大値の書式で入力)

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

6 次の項目を設定し、**設定** をクリックします。

| 項目 | 設定値 |
|----------------|--------------------|
| 優先度 | 20 |
| LAN 側 IP アドレス | 192.168.0.200 |
| ADSL 側 IP アドレス | 自分の ADSL 側 IP アドレス |
| プロトコル | TCP |
| ポート番号 | 100 |

NAT アドレス変換設定画面に戻ります。

NATアドレス変換設定 ヘルプ 

変更を反映しました。

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) **[セキュリティに注意]**
特定ホストのIPアドレス

設定


設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|---------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | 20 | 192.168.0.200 | 自ADSL側アドレス | TCP | 100 |
| 6 | | | | | |

7 No.6 をクリックします。

対応する設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定

ヘルプ 

No.

優先度 (0:使用しない)

LAN側IPアドレス

ADSL側IPアドレス 自分のADSL側IPアドレス
 IPアドレス指定

プロトコル ▼

ポート番号 (最小値-最大値の書式で入力)

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|---------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | 20 | 192.168.0.200 | 自ADSL側アドレス | TCP | 100 |
| 6 | | | | | |

8 次の項目を設定し、設定 をクリックします。

| 項目 | 設定値 |
|----------------|--------------------|
| 優先度 | 21 |
| LAN 側 IP アドレス | 192.168.0.200 |
| ADSL 側 IP アドレス | 自分の ADSL 側 IP アドレス |
| プロトコル | UDP |
| ポート番号 | 110-120 |

NAT アドレス変換設定画面に戻ります。

NATアドレス変換設定

変更を反映しました。

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) **[セキュリティに注意]**
特定ホストのIPアドレス

設定

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|---------------|-------------|-------|---------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | 20 | 192.168.0.200 | 自ADSL側アドレス | TCP | 100 |
| 6 | 21 | 192.168.0.200 | 自ADSL側アドレス | UDP | 110-120 |

9 設定 をクリックします。

以上で、192.168.0.200 という IP アドレスをつけたパソコンで、特定のポートを使用した通信が可能になります。

4-3 VPNを使用する

仮想プライベートネットワーク (VPN : Virtual Private Network) 接続を使用することにより、次のようなことをセキュリティで保護されたデータ転送を使って実現することができます。

- ・自宅からインターネット経由で会社のネットワークに接続する。
- ・自分のネットワークに外部のパソコンから接続する。

VPN として主に使用されるプロトコルとしては、PPTP(Point-to-Point Tunneling Protocol)、IPsec(IP Security)があります。ルータモードにおいてそれぞれのプロトコルをパススルーする設定を行うことにより、インターネット経由でのVPNの使用を可能とします。

ここでは

- ・PPTP または IPsec を、192.168.0.20 というアドレスをつけたパソコンやルータで実行
- ・「NAT アドレス変換設定の「No5」または「No6」を使用

を例に説明します。

実際に設定される場合は、お客様の任意で設定してください。

4-3-1 PPTP パススルーの設定

PPTP パケットをパススルーさせるための設定をします。



お知らせ

本製品に接続したPPTPクライアントからPPTPサーバに接続する場合は、特に設定する必要はありません。

1 メニューフレームの「IP フィルタ」をクリックします。

IP フィルタ 設定画面が表示されます。

IPフィルタ設定

ヘルプ ?

【ステートフル・パケット・インスペクション機能】

送信パケットの情報からその応答パケットの整合性を検査して、不正な応答パケットを破棄することができます。

【アクセス制限機能】

ADSL側インタフェースからの本装置へのWebブラウザによるアクセス等を禁止することができます。

ADSL側からのアクセスを禁止する

ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する

【IPフィルタ機能】

IPアドレス、プロトコル、ポート番号などの条件により、受信したIPパケットを中継あるいは非通過するように指定することができます。

ワンタッチ設定

プライベートアドレスを使用した外部装置との通信を禁止 (No.1～No.6を使用)

外部装置から開始されるTCPセッションを遮断 (No.7を使用)

WindowsのWindows共有関連のソフトウェアを遮断 (No.8～No.10を使用)

登録内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
登録を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | インタフェース | 送信元IPアドレス/マスク長 | 送信先IPアドレス/マスク長 | プロトコル | 送信ポ |
|-----|-----|---------|----------------|----------------|-------|-----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

2 「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックを外します。

3 設定 をクリックします。

4 メニューフレームの「NAT アドレス変換」をクリックします。

NAT アドレス変換設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) [セキュリティに注意]
特定ホストのIPアドレス

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

5 No.5 をクリックします。

対応する設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定

No. 5

優先度 (0:使用しない)

LAN側IPアドレス

ADSL側IPアドレス 自分のADSL側IPアドレス
 IPアドレス指定

プロトコル ▼

ポート番号 (最小値-最大値の書式で入力)

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

6 次の項目を設定し、設定 をクリックします。

| 項目 | 設定値 |
|----------------|--------------------|
| 優先度 | 20 |
| LAN 側 IP アドレス | 192.168.0.20 |
| ADSL 側 IP アドレス | 自分の ADSL 側 IP アドレス |
| プロトコル | TCP |
| ポート番号 | pptp (もしくは 1723) |

NAT アドレス変換設定画面に戻ります。

NATアドレス変換設定

変更を反映しました。

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) [\[セキュリティに注意\]](#)
特定ホストのIPアドレス

設定

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|--------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | 20 | 192.168.0.20 | 自ADSL側アドレス | TCP | pptp |
| 6 | | | | | |

7 設定 をクリックします。

PPTP パケットをパスルーさせることができます。

4-3-2 IPsec パススルーの設定

IPsec パケットをパススルーさせるための設定をします。



お知らせ

IPsecをESP・トンネルモードで使用する場合に、IPsecパケットをパススルーさせるための設定について記述しています。

それ以外のモードのIPsecパケットをパススルーさせることはできません。

1 メニューフレームの「IP フィルタ」をクリックします。

IP フィルタ 設定画面が表示されます。

IPフィルタ設定

ヘルプ ?

[ステートフル・パケット・インスペクション機能]

送信パケットの情報からその応答パケットの整合性を検査して、不正な応答パケットを破棄することができます。

[アクセス制限機能]

ADSL側インタフェースからの本装置へのWebブラウザによるアクセス等を禁止することができます。

ADSL側からのアクセスを禁止する

ICMP、IDENT(TCP/113)だけは許可する

[IPフィルタ機能]

IPアドレス、プロトコル、ポート番号などの条件により、受信したIPパケットを中継あるいは非通過するように指定することができます。

ワンタッチ設定

- プライベートアドレスを使用した外部装置との通信を禁止 (No.1～No.6を使用)
- 外部装置から開始されるTCPセッションを遮断 (No.7を使用)
- 外部装置からのWindows共有関連のオフラインクと遮断 (No.8～No.10を使用)

登録内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
登録を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | インタフェース | 送信元IPアドレス/マスク長 | 送信先IPアドレス/マスク長 | プロトコル | 送信ポ |
|-----|-----|---------|----------------|----------------|-------|-----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

2 「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックを外します。

3 **設定** をクリックします。

4 メニューフレームの「NAT アドレス変換」をクリックします。

NAT アドレス変換設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) **[セキュリティに注意]**
特定ホストのIPアドレス

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

5 **No.6** をクリックします。

対応する設定画面が表示されます。

NATアドレス変換設定

No. 6

優先度 (0:使用しない)

LAN側IPアドレス

ADSL側IPアドレス 自分のADSL側IPアドレス
 IPアドレス指定

プロトコル 全プロトコル(占有)

ポート番号 (最小値-最大値の書式で入力)

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |

6 次の項目を設定し、設定 をクリックします。

| 項目 | 設定値 |
|----------------|--------------------|
| 優先度 | 20 |
| LAN 側 IP アドレス | 192.168.0.20 |
| ADSL 側 IP アドレス | 自分の ADSL 側 IP アドレス |
| プロトコル | UDP |
| ポート番号 | 500 |

NAT アドレス変換設定画面に戻ります。

NATアドレス変換設定

変更を反映しました。

NATテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換のみを行い、ポート番号の変換を行わない場合に使用します。

ワンタッチ設定

Webサーバを外部に公開する (No.1を使用)
WebサーバのIPアドレス

FTPサーバを外部に公開する (No.2、No.3を使用)
FTPサーバのIPアドレス

外部からのパケットをすべて特定ホストに中継する (No.4を使用) [\[セキュリティに注意\]](#)
特定ホストのIPアドレス

設定

設定内容を変更または削除するには、番号をクリックしてください。
設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

| No. | 優先度 | LAN側IPアドレス | ADSL側IPアドレス | プロトコル | ポート番号 |
|-----|-----|--------------|-------------|-------|-------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | 20 | 192.168.0.20 | 自ADSL側アドレス | UDP | 500 |

7 設定 をクリックします。

IPsec をパススルーさせることができます。

MegaBit Gear TE4571E
取扱説明書（詳細編）

2008年1月 第二版

製造元 住友電エネットワークス株式会社

NCMA060033-001
